

とうふの人

六月のある日

とうふの上で

寝ころんでいる人を見た

思わず

気持ちよさそうですね と

声をかけると

ちめたくて

ちもきいいです

不思議な

答えが返ってきた

代わつてくれませんか と

言うと

きょうはだめです

きつぱり断られ

とうふの人は

目を閉じて

眠つてしまった

次の朝

七時に起きて

とうふに赴いた

誰もいなかった

白いとうふは

つややかに

うるおっている

くつを脱ぎ

そつと寝ころんでみた

ああ

ちめたくて

ちもきいいなと

思うやいなや

ぬむぬむ

体が沈み始めた

困ったといえは

なるほど困ったことだが

つくづく考えてみれば

とうふの中は

もつと

ちめたくて

ちもきいいだろうと思ひ

じよじよに

脱力して

今に

至っている